

マリレ情報よろず屋

平成27年12月発行第39号
第二管区海上保安本部
マリレジャー安全推進室

平成27年11月 船舶海難事故情報

衝突1件、乗揚げ1件、機関故障1件
事故事例（衝突/秋田港外）

遊漁船A丸は釣りを終え帰港中、秋田港外で錨泊中のタンカー（998トン）に衝突しました。衝突によりタンカーは右舷側ハンドレール及びエア抜きが破損、A丸は船首部等が大破しました。両船とも、積荷、油の流出はなく、負傷者もいませんでした。



航行前にはできるだけ休息をとり、
疲労や睡眠不足を解消しておこう！



原因と対策

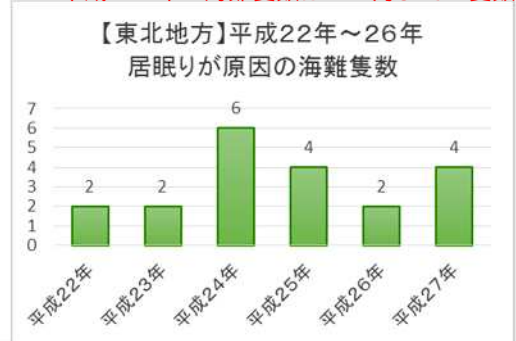
帰港中、A丸船長が居眠りをしたことが原因でした。居眠り運転は衝突・乗揚げ等の人命に関わる海難に繋がり極めて危険です。航行中に眠気を感じたら、外気にあたる、ガムを噛む、体を動かす、携帯電話等を一定時間毎にアラームが鳴るようにセットするなど自身を刺激して眠気を抑え、見張りを徹底しましょう。

ワンポイント講座

居眠りが原因の海難について

平成22年から平成26年の過去5年間に於いて、東北地方における居眠りを原因とした海難は16隻ありました。プレジャーボート・遊漁船においても居眠りが原因による海難が発生しています。居眠りの原因は疲労、睡眠不足です。航行前には必ず休息をとって、安全にマリレジャーを楽しみましょう。

平成27年の海難隻数は11月までの隻数



【船種別】平成22年～26年 居眠りが原因の海難隻数

【海難種類別】平成22年～26年 居眠りが原因の海難隻数



危険

居眠り = 衝突・乗揚げ

居眠り運転は衝突や乗揚げといった命に関わる海難に繋がり極めて危険です。絶対止めよう！



平成27年11月 海浜事故情報

海中転落2件、行方不明1件

事故事例（行方不明/秋田県）

事故者は釣りをするため、友人と漁港で待ち合わせをしていました。友人が漁港に到着した際、事故者の車と釣り道具は確認できましたが、姿が見えなかったことから、海中転落したものと考え119番通報しました。付近を捜索した結果、消波ブロックの間から事故者の帽子と釣竿が見つかりましたが事故者は見つかりませんでした。付近で釣りをしていた人の目撃情報によると、行方不明者は救命胴衣未着用であったとのことでした。

付近に陸に上られる場所があるかも確認しよう！



梯子



階段



マリレ情報よろず屋

防波堤が高く非常に危険！



約5メートル

原因と対策

事故発生時、強風波浪注意報が発表されており、事故者の気象海象不注意と足元への不注意が原因で海中転落したものと思われます。防波堤は高さもあり、足が滑ったり、強風で煽られバランスを崩し、誤って転落すると、命に関わる事故に繋がる危険性が高い場所です。釣りを楽しむ際は、最新の気象情報に留意し、安全な場所で行いましょう。

万一の海難事故に備えて～自己救命策3つの基本を守ろう～



ライフジャケットの着用は、万一の海中転落に備えて大変重要です。海中転落した場合、ライフジャケットを着用していれば、浮き上がり、識別性が高く、他の人も認識しやすくなります。



釣りに行く際は、単独ではなく複数人で行くとともに、行先を家族や知り合いに伝え、携帯電話は防水パックにいれるなど連絡手段を確保しましょう。



安全が一番ですが、もしも、事故にあった、目撃したといった場合は、海の緊急ダイヤル118番に連絡しましょう。



マリレ情報よろず屋

～バックナンバーはこちら～

MICSスマートフォン用サイト

（沿岸域情報提供システム）



マリレ情報よろず屋は、毎月10日頃発刊しますのでご覧下さい！
パソコンの方：「マリレ情報よろず屋」「MICS」で検索！